

平成25年度（平成24年度決算）

みやき町教育委員会
事務事業評価報告書

みやき町教育委員会

平成25年度（平成24年度決算）事務事業評価に係る事業一覧表

【学校教育課】

事業名	ページ数
○ 学校施設耐震化事業	1
○ 学校施設改修事業	2
○ 義務教育施設環境整備事業	3
○ 魅力ある学校づくり、進・魅力ある学校づくり推進事業	4
○ 原子力・エネルギー教育支援事業	5
○ 地域スポーツ人材活用実践支援事業	6
○ 外国青年招致事業	7
○ 教育委員会活動事業	8
○ 特別支援教育支援員配置事業	9
○ スクールカウンセラー事業	10
○ 学力向上支援体制確立対策事業	11
○ 要保護・準要保護児童生徒就学援助事業	12
○ 育英資金貸付基金事業	13
○ 学校給食センター事業	14

【社会教育課】

事業名	ページ数
○ 放課後児童健全育成事業	15
○ 図書館事業	16
○ 生涯学習事業	17
○ 青少年健全育成事業	18
○ 文化財保護事業	19
○ 放課後子ども教室事業	20
○ 九州及び全国競技大会出場補助事業	21
○ 町体育協会補助事業	22
○ 町民体育大会実行委員会補助事業	23
○ 各種スポーツ大会等開催事業	24
○ 北茂安B&G海洋センター教室開催等事業	25

事業名	学校施設耐震化事業			所管課	学校教育課	担当	教育総務担当
				費目	事務局費		
事業費 (千円)	73,425	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
			11,092				62,333
基本方針	重点目標	いきいき楽しい学校教育の推進					
	主要施策	学校施設・設備の充実					
事業の内容等	児童生徒及び地域住民の安全性確保のため、耐震性のない校舎・体育館について耐震化を図る。						
事業の実績等	<p>町立の小学校、中学校における校舎及び屋内運動場の耐震化を必要とする棟は14棟ある。平成21年度～平成24年度に全ての棟について耐震化を計画していた。</p> <p>平成21年度は、中原小学校屋内運動場1棟、三根東小学校屋内運動場1棟</p> <p>平成22年度は、中原小学校校舎3棟、北茂安中学校2棟</p> <p>平成23年度は、三根東小学校校舎1棟、三根西小学校1棟、中原中学校2棟</p> <p>平成24年度は、北茂安小学校校舎2棟、中原中学校屋内運動場1棟の耐震補強工事を行った。</p>						
事業の成果等	自己評価	計画どおり完了しました。					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分						
評価委員	評価結果	指摘事項					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。					
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等						

事業名	学校施設改修事業		所管課	学校教育課	担当	学校教育担当	
			費目	小学校費・中学校費			
事業費 (千円)	6,507	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
							6,507
基本方針	重点目標	いきいき楽しい学校教育の推進					
	主要施策	学校施設・設備の充実					
事業の内容等	学校施設の老朽化に対し改修を行う。						
事業の実績等	<p>中原小学校体育館屋根防水工事 北茂安小学校講堂カーテン取替え工事 三根西小学校昇降口前排水工事 中原中学校グランド側溝改修工事 北茂安中学校体育館ライン改修工事</p>						
事業の成果等	自己評価	<p>中原小学校他4工事は、施設の老朽化改修で児童生徒利用の安全確保ができた。 北茂安中学校工事は、バスケットボールルール改正に伴う改修を行なうことで、教育環境の充実に図ることができた。</p>					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分						
評価委員	評価結果	指 摘 事 項					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	当然予算化した上での事業になると思うが、当初予算要求時の事業の必要性を十分検討して実施してください。					
次年度以降の取組み	指 摘 事 項 を 受 け て の 改 善 点 等						
	従来からも行っているところであるが、学校からの予算要求を十分に検討し、緊急性・必要性を考慮して、適切な学校環境の維持管理に必要な事業を実施していくこととします。						

事業名	義務教育施設環境整備事業			所管課	学校教育課	担当	教育総務担当
				費目	事務局費		
事業費 (千円)	250,267	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
			53,129		187,200		9,938
基本方針	重点目標	いきいき楽しい学校教育の推進					
	主要施策	学校施設・設備の充実					
事業の内容等	町内全小・中学校への空調設備設置による児童生徒の学習環境の充実を図る。						
事業の実績等	<p>町立の小学校、中学校の全普通教室、特別支援教室等への空調設備設置を行った。</p> <p>学校別設置教室数（普通教室、特別支援教室）</p> <p>中原小学校 18教室</p> <p>北茂安小学校 20教室</p> <p>三根東小学校 10教室</p> <p>三根西小学校 8教室</p> <p>中原中学校 10教室</p> <p>北茂安中学校 11教室</p> <p>三根中学校 9教室 計 86教室</p>						
事業の成果等	自己評価	計画どおり順調に進んでいる。					
	達成 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成 やや不十分 不十分						
評価委員	評価結果	指摘事項					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	普通教室の整備は完了していたため、当面の計画は達成できていると思う。但し、特別教室が未整備となっているため、整備の必要性も考慮して、今後の計画を検討してください。					
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等						
	特別教室への整備の必要性について、学校現場の意見や費用対効果も含めて検討していきたいと考えます。						

事業名	魅力ある学校づくり推進事業		所管課	学校教育課	担当	学校教育担当	
	進・魅力ある学校づくり推進事業		費目	小学校費・中学校費			
事業費 (千円)	798	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
				449			349
基本方針	重点目標	心豊かに、自ら学ぶ力を高める学校づくりを目指す					
	主要施策	学力向上、地域交流を目的とした教育事業の推進を図る					
事業の内容等	<p>中原小学校では、家庭での親子読書時間の実施等における語学教育の向上、地域交流事業を通じて地域連携教育を図る。また、中原中学校、北茂安中学校では、教職員研修会等の実施を通して、子ども達の学力向上への意欲増進や心豊かな人格形成の促進を図る。</p>						
事業の実績等	<p>事業実施校：中原小学校・中原中学校・北茂安中学校（全校単年事業（中原小は4年目、中原中は2年目））</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中原小学校 読み聞かせ会や家庭読書時間を設けることにより、語学力向上を図ることができた。また、伝統工芸等の体験学習や中学校との共同事業の実施により、小学校だけで補えない教育指導を図ることができた。 ・中原中学校 生徒のグループ学習実施を目的に教職員研修や先進校への視察を実施することにより、生徒の学習意欲、学力向上を図ることができた。 ・北茂安中学校 生徒の確かな学力の定着を目的に、学習指導のあり方のための教職員研修や生徒相互間の学び合いを実施することにより、生徒の学力向上や生活態度の適正化を図ることができた。 						
事業の成果等	自己評価	<p>子ども達に対する指導事業の取組みについては、ほぼ当初の目標を達成したと考えている。教職員研修については、ワークショップ型の研修会や先進地視察により教職員の指導力や教育意欲の向上を図ることができた。また、子ども達自身に対する指導事業の取組みについても、概ね自己目標達成のため、意欲向上を図ることができた。今後は、本事業内容の継続を図り、より一層の指導力向上を進めて行きたい。</p>					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分						
評価委員	評価結果	指 摘 事 項					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	<p>学校の特色を生かした授業や教職員の研修等、学校の特色を出した魅力ある学校運営を行うための事業であり、予算化された学校だけの取り組みではなく、他校も実施されているのではないかと思う。</p> <p>予算化されていない学校でも、学校の独自性を前面に出した授業や校内研修を行っていると思われるので、すべての学校で取り組まれるよう努力していただきたい。</p>					
次年度以降の取組み	指 摘 事 項 を 受 け て の 改 善 点 等						
	<p>学校独自性を生かした特色ある学校運営ができるよう、学校に指導を行い、事業の採択が可能となるよう努力します。</p>						

事業名	原子力エネルギー教育支援事業		所管課	学校教育課	担当	学校教育担当	
			費目	小学校費			
事業費 (千円)	307	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
				307			
基本方針	重点目標	身近なエネルギーに対する知識の習得を目指す					
	主要施策	エネルギー供給や仕組みの学習を目的とした教育事業の推進を図る					
事業の内容等	特定学年の授業において、エネルギー館の見学や実験器具を通じて、エネルギー供給の仕組み等の知識の習得を図った。						
事業の実績等	<p>事業実施校：中原小学校</p> <p>事業実施年数：単年申請の4年目</p> <p>① 九州エネルギー館見学（6年生）</p> <p>② 手回し発電実験セット</p>						
事業の成果等	自己評価	<p>本事業補助金により施設見学や実験セットを活用して、子ども達にエネルギーの発生や供給の仕組みについて、教科書だけの学習より、より良い学習を行なうことができた。</p>					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> おおむね達成 <input type="checkbox"/> やや不十分 <input type="checkbox"/> 不十分						
評価委員	評価結果	指 摘 事 項					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> おおむね達成 <input type="checkbox"/> やや不十分 <input type="checkbox"/> 不十分	特になし。					
次年度以降の取組み	指 摘 事 項 を 受 け て の 改 善 点 等						

事業名	地域スポーツ人材活用実践支援事業		所管課	学校教育課	担当	学校教育担当	
			費目	小・中学校費			
事業費 (千円)	315	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
				315			
基本方針	重点目標	外部指導者を活用して、スポーツ技術等の習得を目指す					
	主要施策	体育授業や運動部活動において、基本的、専門的な指導強化を図る					
事業の内容等	中学校における運動部活動において、専門的な外部指導者を活用して、学校教諭で補えない基本的・専門的な技術の習得を図る。						
事業の実績等	事業実施校：町内3中学校（運動部活動） 事業実施年数：単年申請の4年目						
	① 中原中学校・・・運動部活動（剣道、野球、卓球）、回数各14回 ② 北茂安中学校・・・運動部活動（陸上、野球）、回数各14回 ③ 三根中学校・・・運動部活動（卓球、サッカー、バレーボール）、回数各14回						
事業の成果等	自己評価	中学校においては、全ての運動部活に専門的指導ができる教員が顧問になれない問題があるため、専門的技術を有する外部指導者の指導により、子ども達に基本的、専門的技術を習得させることができた。					
	達成 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成 やや不十分 不十分						
評価委員	評価結果	指 摘 事 項					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> おおむね達成 やや不十分 不十分	校外からの指導者は大変有意義な方法であり、当該事業で挙げられている以外に現在、社会体育団体からも指導が行われている。 実施回数が減っているのは、県の予算の問題と思うが、有効な事業だと思われるので、開催日数の増加を図っていただきたい。 また、指導者の管理は学校の管理となると思われるが、指導上の体罰等が内容、十分に注意していただきたい。					
次年度以降の取組み	指 摘 事 項 を 受 け て の 改 善 点 等						
	実施回数の増加に向けて、県への予算要求を行っていききたい。 また、外部指導者には、体罰等がないように指導上の注意点を徹底させていききたい。						

事業名	外国青年招致事業		所管課	学校教育課	担当	学校教育担当	
			費目	外国青年招致事業費			
事業費 (千円)	14,742	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
						168	14,574
基本方針	重点目標	町内児童、生徒の英語学力の向上を目指す					
	主要施策	英語圏外国人の指導にて、語学力向上と異国文化の知識習得を図る					
事業の内容等	町内中学校に外国人指導者（ALT）を雇用して、中学校における英語授業での日本人教諭のアシスタント及び小学校における外国語体験学習での指導を行ない、子ども達の外国語学力の向上と異国文化の知識習得を図る。						
事業の実績等	<p>雇用ALT：米国男性2名（中原、北茂安）、米国女性1名（三根）計3名</p> <p>現ALT勤務年数：男性ALT2名5年目と1年目、女性ALT1年目</p> <p>ALT勤務時間：週4.5日勤務のうち、1日を同校区小学校に派遣</p> <p>その他：英語授業以外でも、運動会や文化祭等の学校行事にも協力している。</p>						
事業の成果等	自己	町内ALT3名とも、学校における勤務評価も良好で、ある程度の日本語での会話も出来る。授業時間以外でも子ども達に親しく接しており、「言葉が通じない。」といった固定観念を払拭させ、子ども達の外国語学力向上、並びに学習意欲増進に貢献していると思われる。					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分						
評価委員	評価結果	指摘事項					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。					
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等						

事業名	教育委員会活動事業			所管課	学校教育課	担当	教育総務担当
				費目	委員会費		
事業費 (千円)	1,033	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
							1,033
基本方針	重点目標	教育の基本方針の総合的施策の推進					
	主要施策	教育の基本方針の教育行政の推進					
事業の内容等	教育委員会の活動状況や会議運営状況等						
事業の実績等	<p>〈主な学校行事参加関係〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 小学校入学式（4／10）・中学校入学式（4／11）・・・教育委員分散しての告辞 ○ 学校訪問（年間通して、小中学校7校の訪問）・・・教育委員全員 ○ 運動会・体育大会への参加・・・教育委員分散しての参加 ○ 文化祭・・・教育委員分散しての参加 ○ 青少年主張会・・・教育委員全員 ○ 小学校卒業式（3／19）・中学校卒業式（3／15）・・・教育委員分散しての告辞 <p>〈主な会議参加関係〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 町定例教育委員会（年12回）・町臨時教育委員会（年2回、6月・3月） ○ 三神地区教育委員会連絡協議会（春と秋の年2回） 						
事業の成果等	自己評価	教育委員自身、子どもたちの学校生活を把握できる機会を逃さないように学校行事には、積極的に参加している。					
	<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">達成</div> おおむね達成 やや不十分 不十分	会議関係では、町定例教育委員会において、付議議案のほかに、佐賀県の教育状況については教育長会資料により、また町内の状況については、校長会・教頭会の資料により確実に情報の共有を図っている状況である。また、県・三神地区の連絡協議会等の研修にも積極的に参加し、意見交換や現在の情報共有ができています。地域の声を聴くため、地区懇談会・PTA等の行事に積極的な参加を行っているところである。					
評価委員	評価結果	指 摘 事 項					
	<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">達成</div> おおむね達成 やや不十分 不十分	積極的に学校行事や研修会にも参加されており、特にありません。引き続き、学校現場の状況を十分把握され、適切な指導をお願いしたい。					
次年度以降の取組み	指 摘 事 項 を 受 け て の 改 善 点 等						

事業名	特別支援教育支援員配置事業			所管課	学校教育課	担当	学校教育担当																																																				
				費目	事務局費																																																						
事業費 (千円)	8,743	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源																																																				
							8,743																																																				
基本方針	重点目標	「生きる力」を育む教育の推進																																																									
	主要施策	特別支援教育の一層の充実																																																									
事業の内容等	小中学校に在籍する障害を持つ児童生徒に対して、学校教育活動上の日常生活の介助や学習活動上のサポートを行う。																																																										
事業の実績等	○ 特別支援学級入級者の状況（H24.5.1現在）																																																										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>知的</th> <th>情緒</th> <th>難聴</th> <th>通級</th> <th>学校名</th> <th>知的</th> <th>情緒</th> <th>難聴</th> <th>通級</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中原小</td> <td>0</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>中原中</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>北茂安小</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>16</td> <td>北茂安中</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>三根東</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>三根中</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>三根西小</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>計</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>1</td> <td>19</td> </tr> </tbody> </table>										学校名	知的	情緒	難聴	通級	学校名	知的	情緒	難聴	通級	中原小	0	4	1	2	中原中	1	2	0	0	北茂安小	4	2	0	16	北茂安中	1	0	0	0	三根東	3	3	0	0	三根中	3	1	0	0	三根西小	0	0	0	1	計	12	12	1
学校名	知的	情緒	難聴	通級	学校名	知的	情緒	難聴	通級																																																		
中原小	0	4	1	2	中原中	1	2	0	0																																																		
北茂安小	4	2	0	16	北茂安中	1	0	0	0																																																		
三根東	3	3	0	0	三根中	3	1	0	0																																																		
三根西小	0	0	0	1	計	12	12	1	19																																																		
○ 小学校4校に、1校2名の計8名を配置し、特別支援員の補助生活指導によるきめ細かな生活指導に努めている。																																																											
○ 通級者（まなびの教室）の状況 ・中原小学校2名、三根西小学校1名、北茂安小学校16名が、北茂安小学校内通級学級へ週1回程度の通級を行っている。																																																											
事業の成果等	自己評価	平成22年度より、北茂安小学校に通級学級（学習障害傾向・多動障害傾向等を持つ児童への個別対応教室）を開校した。週1回程度、個に応じた教科指導を行うことで、学校生活サポートが的確にできている。また、通常学級においても、支援員が教諭補助員（T2）の役割を行い、個に応じた指導を行っている。特別支援を必要とする児童生徒が年々増す中、学校生活に支障がないようにサポートしていくことが今後も大切だと思われる。																																																									
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分																																																										
評価委員	評価結果	指摘事項																																																									
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	通級の回数が「週1回」と少ないように感じられるが。																																																									
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等																																																										
	通級の回数については、保護者との相談により決定している。 現在の通級クラスの受け入れ態勢の問題もあるが、引き続き児童の状況を把握し、保護者との協議の上回数を決定していきたい。																																																										

事業名	スクールカウンセラー事業		所管課	学校教育課	担当	学校教育担当		
			費目	事務局費				
事業費 (千円)	1,411	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源	
				470			941	
基本方針	重点目標	「生きる力」を育む教育の推進						
	主要施策	豊かな心を育む教育の推進						
事業の内容等	教育相談に関して、専門的な知識・経験を有する者をカウンセラーとして配置し、学校におけるカウンセリング機能の充実を図る。中学校の事業費については、県費となる。							
事業の実績等	○ 小学校においては、児童の友人関係や発達障害に対する相談が多かった。特に、児童とともに保護者のカウンセリングが多くなっている。中学校においては、不登校傾向生徒に係る相談が多く、生徒自身は、友人関係関することや進路に係る相談が多くみられる。							
	○ 各小中学校において、教員及び保護者に対し、カウンセラーによる研修会を年1～3回行った。							
	学校名	児童(人)	保護者(人)	教員等(人)	学校名	生徒(人)	保護者(人)	教員等(人)
	中原小	5	13	10	中原中	29	13	19
	北茂安小	3	10	13	北茂安中	32	3	31
	三根東小	15	15	4	三根中	50	19	8
三根西小	8	8	8	計	111	35	58	
計	31	46	35					
小学校…280時間、中学校…280時間								
事業の成果等	自己評価	昨年度に比べると、小学校では、児童・保護者・教職員ともに相談が1/2減少し、落ち着いた状態にあると思われる。中学校では、昨年と同数程度の生徒相談件数があり、特に保護者・教職員の相談件数が倍増している。						
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	引き続き当該事業を活用し、悩みや心配事がある児童生徒や保護者及び教職員の個々の相談案件への個別対応により、学校・家庭教育における細かな対応に努めていきたい。また、カウンセラー指導助言により、学校と家庭との連携をさらに充実させ、問題行動に対する未然防止や事後カウンセリングを引き続き行い安定した教育環境の確立を図っていきたい。						
評価委員	評価結果	指 摘 事 項						
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	小学校での相談件数が昨年 비해減っているが、原因を調査すること。相談が減ったのは良いことだし SSW 事業の効果があっているのかもしれないが、当該事業は現代の社会・学校環境を考えれば必要な事業であることから、引き続き実施すること。また、学校間の派遣時間数を平準化したほうが良いのではないかと。						
次年度以降の取組み	指 摘 事 項 を 受 け て の 改 善 点 等							
	相談件数の変化について、学校現場からの意見を聴き調査していきたい。 学校毎の派遣時間数は、学校自らが学校の状態を把握して実施時間数を希望しており、当該希望に沿うよう、予算措置等に反映できるよう努力をしていきたい。							

事業名	学力向上支援体制確立対策事業			所管課	学校教育課	担当	教育総務担当
				費目	事務局費		
事業費 (千円)	10,631	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
							10,631
基本方針	重点目標	「生きる力」を育む教育の推進					
	主要施策	確かな学力を育む教育の推進					
事業の内容等	<p>教諭補助事業・・・中学校に教諭補助員を配置し、生徒の学力向上及び生徒指導を行う。 また、不登校対策として、教育委員会事務局で不登校児童・生徒への個別指導を行う。</p>						
事業の実績等	<p>○ 教諭補助事業 決算額 10,630,156 円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町の直接雇用（3中学校に6名、不登校対策（事務局内勤務）1名・・・計7名の配置） ・中原中学校2名（社会・体育） 北茂安中学校2名（数学・体育） 三根中学校2名（国語・理科） ・担当教科でTTを実施し、T2の役割を担うことで学習支援を行った。 						
事業の成果等	自己評価	<p>教諭補助員を配置したことで、一人一人の学習内容に応じた支援・対応ができたことで、個々の学力が向上できたと思われる。また、問題行動等においても教諭支援を行い、落ち着いた学校生活ができています。</p> <p>不登校児童生徒対策として、教育委員会に『フリースクール』を開校し、不登校児童・生徒の受け入れを行い、個別指導を通じて、通学者の学校・社会への適応力の醸成を図った。</p>					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分						
評価委員	評価結果	指 摘 事 項					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	<p>不足している教科や学力が低下した教科に投入されており、非常に有効な手段だと考えられるため、今後も継続していく必要があります。</p>					
次年度以降の取組み	指 摘 事 項 を 受 け て の 改 善 点 等						
	補助教諭・不登校対策ともに高評価を得ているため、引き続き実施するよう努めていきたい。						

事業名	要保護・準要保護児童生徒 就学援助事業		所管課	学校教育課	担当	学校教育担当	
			費目	小中学校費			
事業費 (千円)	12,239	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
				29			12,239
基本方針	重点目標	教育活動を支える環境の整備					
	主要施策	学校・家庭・地域が連携した教育の推進					
事業の内容等	学校教育法第19条に基づく、経済的な理由によって就学困難な児童生徒の保護者に対して、必要な援助を行い、義務教育の円滑な実施に資する。						
事業の実績等	<p>【要保護児童生徒】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校 2名 中学校 3名 計5名 ・修学旅行費（実費）のみの支給 ・支給総額 中学校 59,031円 <p>【準要保護児童生徒】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校 97名 中学校 62名 計 159名 ・認定者数は、年々増加。(H23:161名、H22年度:150名、H21年度:140名、H20年度:118名) ・学用品費等、通学用品費、校外活動費、修学旅行費、新入学児童生徒学用品費、医療費、学校給食費を支給。費目によっては、実費負担額支給をするが、限度額がある費目もある。 ・支給総額 小学校 6,114,894円 中学校 6,123,830円 ・毎年、2月の町広報で申請のお知らせをしている。随時申請も受け付けている（扶助費は月割） 						
事業の成果等	自己評価	<p>準要保護児童生徒の増加は、景気が不安定な中にあり、また離婚等によるひとり親家庭が年々増加していることが主な原因である。</p> <p>学校給食費等滞納者にあつては、学校・給食センターと教育委員会で協議しながら申請を提出いただいている。就学援助事業を活用しながら、家庭教育力向上ができればと思っているところである。</p>					
	<p><input checked="" type="checkbox"/>達成</p> <p>おおむね達成</p> <p>やや不十分</p> <p>不十分</p>						
評価委員	評価結果	<p>指 摘 事 項</p> <p>認定児童数の増加等は現在の社会情勢が反映された状況であり、今後も増加していくと思われる。</p> <p>経済的弱者への支援について、引き続き適正に対処していただきたい。</p>					
	<p><input checked="" type="checkbox"/>達成</p> <p>おおむね達成</p> <p>やや不十分</p> <p>不十分</p>						
次年度以降の取組み	指 摘 事 項 を 受 け て の 改 善 点 等						
	支援要綱等に基づいた認定事務を行い、支援制度の適正な運用に努めていきたい。						

事業名	育英資金貸付基金事業			所管課	学校教育課	担当	学校教育担当				
				費目		事務局費					
事業費 (千円)	1,680	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源				
						1,680					
基本方針	重点目標	教育活動を支える環境の整備									
	主要施策	学校・家庭・地域が連携した教育の推進									
事業の内容等	<p>育英助長の必要があると認める本町に住所又は本籍を持つ優秀な高校又は大学（短大）に在学（進学）する者の中で、学業優秀や身体強健等の意欲があり、経済的理由により学資の支弁が困難である者に対して修学上必要な資金として貸し付ける。</p>										
事業の実績等	<p>○ 大学生 月額20,000円 / 高校生 月額10,000円 の貸付</p> <p>○ 貸付期間は当該学年から正規修業時まで 利率は無利子</p> <p>○ 基金及び貸付者等の状況 (単位：千円，人)</p>										
		積立金	返済額	既認定者		申請者		認定者		貸付額	残額
				高校	大学	高校	大学	高校	大学		
	平成22年度	2,000		1	3	0	3	1	5	1,320	1,360
	平成23年度	2,000		1	5	1	1	2	6	1,680	1,680
平成24年度	2,000	368	2	6	1	2	2	6	1,680	2,368	
<p>○ 平成20年度より貸付を開始している。みやき町育英資金運用委員会（委員5名）にて、採用者の決定を行っている。平成24年度は5/10に開催し、高校生1名・大学生2名の採用をした。</p> <p>○ 返済については、平成24年度より3名の償還が始まった。6年以内で月賦又は年賦で返済する。</p>											
事業の成果等	自己評価	<p>育英資金貸付事業の開始から5年目である。町広報の2・3月号に掲載をして募集を行い、11名の奨学生へ貸付を行った。平成24年7月から3名の償還が開始され、償還計画どおり償還がなされている。</p> <p>現在の貸付者は8名である。</p> <p>申請者においては、佐賀県等や他の育英資金貸付との兼ね合いを見ながら申請されている。</p> <p>返済が開始しても貸付の方が多いので、積立等をしながら基金を賄っていく状況である。</p>									
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">達成</div> おおむね達成 やや不十分 不十分										
評価委員	評価結果	指 摘 事 項									
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">達成</div> おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。									
次年度以降の取組み	指 摘 事 項 を 受 け て の 改 善 点 等										

事業名	学校給食センター事業			所管課	学校教育課	担当	学校給食担当																				
				費目	給食センター費																						
事業費 (千円)	23,053	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源																				
							23,053																				
基本方針	重点目標	児童及び生徒の心身の健全な発達に資する給食の提供																									
	主要施策	栄養バランスのとれた豊かな学校給食の提供																									
事業の内容等	小学校2校・中学校2校、一食あたり小学生245円・中学生294円で年間197回の給食を提供する。																										
事業の実績等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 食の安全を徹底するために、調理員の衛生管理研修を実施した。(7月24日) ○ 安心・安全な給食提供のため、地元野菜の供給を推進した。 <p>*給食センター稼働回数 197回 (計画停電の実施により、1回中止になった)</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>年間回数</th> <th>児童数</th> <th>職員数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>三根東小学校</td> <td>192</td> <td>190</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>三根西小学校</td> <td>192</td> <td>165</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>三根中学校</td> <td>190</td> <td>197</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>中原中学校</td> <td>190</td> <td>199</td> <td>23</td> </tr> </tbody> </table>							学校名	年間回数	児童数	職員数	三根東小学校	192	190	22	三根西小学校	192	165	17	三根中学校	190	197	25	中原中学校	190	199	23
	学校名	年間回数	児童数	職員数																							
三根東小学校	192	190	22																								
三根西小学校	192	165	17																								
三根中学校	190	197	25																								
中原中学校	190	199	23																								
事業の成果等	自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ○衛生管理を徹底し、食中毒等の事故も無く、充実した給食内容を提供できた。 ○給食費が2件、現年度に徴収できなかった。 																									
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分																										
評価委員	評価結果	指 摘 事 項																									
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	<p>引き続き、事故がないように適正な管理をお願いしたい。</p> <p>また、未納金が2件あるが、自校方式校に比べれば件数も少ないので評価できる。但し、未納金が発生しないことが最良なので引き続き徴収事務を努力すること。</p>																									
次年度以降の取組み	指 摘 事 項 を 受 け て の 改 善 点 等																										
	<p>衛生管理を徹底し、事故がないよう運営していきたい。</p> <p>また、未納金の徴収と新たな未納金が発生しないよう適宜、学校と協議していく。</p>																										

事業名	放課後児童健全育成事業		所管課	社会教育課	担当	社会教育担当	
			費目	児童福祉総務費			
事業費 (千円)	19,069	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
				8,368		6,513	4,188
基本方針	重点目標	生涯学習の総合的な推進と青少年の健全育成					
	主要施策	総合的な放課後子どもプランの実施および活動の推進					
事業の内容等	放課後児童に集団生活を体験させ、遊びを中心とした生活指導を通じて児童の健全育成を図るものとする。また、夏期休業中は地域住民との交流活動として各種団体（婦人会、老人クラブ、ボラ連）の協力を得て、運動、食育、昔遊び等の活動を実施する。						
事業の実績等	○ 児童クラブ受け入れ状況						
	放課後の時間に保護者等が家庭にいない小学校1年生～3年生の児童が対象、夏期休業中については、4年生～6年生も受け入れる。また、特別な事情で利用を必要とする4年生以上の児童についても放課後の受け入れを行う。						
	児童クラブ名	設置場所	利用児童数(放課後)1～3年生	利用児童数(放課後)4年生以上	利用児童数(夏休み)1～6年生	待機児童数	
	ひまわり児童クラブ	中原小学校敷地内	74	2	116	0	
	北茂安児童クラブ	北茂安小学校敷地内	80	1	114	0	
	三根東児童クラブ	三根東小学校敷地内	17	5	33	0	
三根西児童クラブ	三根西小学校敷地内	22	1	60	0		
計		193	9	323	0		
事業の成果等	自己評価	放課後留守家庭の児童の安全で健やかな活動場所を確保し、遊びや集団生活を通して子どもの健全育成活動ができた。					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	子どもたちを取り巻く環境を考慮した受け入れ（4年生以上の受け入れ、開設時間の延長）を行い、待機児童がないように努め、保護者の需要に対応できた。 学校・地域とも連携し情報の共有を行い、また、指導員の確保・資質向上にも努力し児童クラブ運営が円滑にできた。					
評価委員	評価結果	指摘事項					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。					
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等						

事業名	図書館事業		所管課	社会教育課	担当	図書館担当	
			費目	図書館費			
事業費 (千円)	1,900	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
						500	1,400
基本方針	重点目標	社会教育の振興、歴史や文化の情報発信					
	主要施策	生涯学習の環境づくり					
事業の内容等	町民が知りたい読みたい資料を購入及び他館より借受け提供し、町民の知的要求に応え、生活の向上を助ける。						
事業の実績等	○ 蔵書構成						
		一般書	児童書	AV資料	雑誌	合計	
	24年度末	51,811	20,565	1,881	2,780	77,037	
	内24年度受入分	(1,280)	(414)	(2)	(415)	(2,111)	
	○ 貸出実績						
		開館日数	館外貸出人員	館外貸出冊数	1日平均貸出冊数		
	281日	20,392人	88,644点	316点			
○ リクエスト、レファレンスサービス							
・ リクエスト 予約件数 2,239件 (貸出中資料については予約処理、未所蔵資料については購入及び他館より借受で対応)							
・ レファレンス 622件 (読書相談、調べものに対応)							
○ 図書館蔵書検索システム導入事業により、平成21年10月1日よりインターネット蔵書公開を開始している。							
事業の成果等	自己評価	インターネット蔵書公開により、町民により早く新着資料情報を提供できるようになり、サービスの向上に繋がった。町民の日常情報サービスの場として、生涯学習の場として、郷土の歴史や文化を学ぶ場としての充実を行った。					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分						
評価委員	評価結果	指摘事項					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。					
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等						

事業名	生涯学習事業		所管課	社会教育課	担当	社会教育担当	
			費目	公民館費			
事業費 (千円)	732	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
						609	123
基本方針	重点目標	生涯学習の総合的な推進と青少年の健全育成					
	主要施策	生涯学習の環境づくり					
事業の内容等	住民の多様化する学習ニーズに対応して、各種教養講座や教室を実施し、住民の教養の向上、健康増進を図る。						
事業の実績等	各校区における公民館事業の実施状況						
	区分	事業の種類	回数	参加者数 (人)			
				男	女	計	
	中原校区	みやき塾（中原編）、風カレッジ、パソコン講座	30回	251	383	634	
	北茂安校区	みやき塾（北茂安編）、佐賀の歴史講座、書道教室、布ぞうり教室、初夏のガーデニング教室、ちぎり絵教室、メイクアップ教室、木目込み人形教室、パソコン教室	32回	182	561	743	
三根校区	みやき塾（三根編）、生きがい講座	7回	17	201	218		
計			69回	450	1,145	1,595	
事業の成果等	自己評価	住民のニーズに共感する講座・教室を開催し多くの参加者を得て、生涯学習の情報提供、環境づくりが実施できた。介護予防事業と連携した高齢者向けの講座を行った結果、パソコン教室では、高齢者の方々が楽しんで講義を受けられる姿が見られた。生涯を健康で生きがいを持って生活できるよう支援した。					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分						
評価委員	評価結果	指摘事項					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。					
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等						

事業名	青少年健全育成事業			所管課	社会教育課	担当	社会教育担当
				費目	社会教育総務費		
事業費 (千円)	3,262	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
							3,262
基本方針	重点目標	生涯学習の総合的な推進と青少年の健全育成					
	主要施策	青少年の体験活動の充実及びサポート隊組織強化と活動の充実					
事業の内容等	青少年健全育成指導員や青少年育成町民会議と連携し、地域での青少年育成や青少年サポート隊活動による子どもたちの安全安心な環境づくりに取り組む。						
事業の実績等	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年健全育成指導員については、各地区1名の計57名に委嘱して、校区ごとに年7、8回指導員会議を開催し、地域での活動や現状報告を行い青少年の育成に取り組んだ。また、青少年健全育成指導員が主体となって地区懇談会を開催し、小・中学校の現状や教育委員会の取組み等を報告し、地域住民との意見交換を行った。(25地区実施) ・青少年育成町民会議においては、地区内で取り込まれる体験活動やふれあい交流活動に対して助成を行う「青少年育成地区活動補助事業」を実施。(45地区助成) ・広報啓発事業として、「少年の主張」文集を作成し各世帯に配布した。 ・小中学校交流主張会を11月に校区ごとに開催した。 ・青少年サポート隊による登下校時の立番や防犯パトロールを実施した。 ・組織強化として、5月に総会、隊長会議を年2回開催し、地区活動報告や防犯講話を実施した。また、有田町に先進地視察を行い様々な取組みを参考にして活動の充実を図っている。 						
事業の成果等	自己評価	地域において子どもと大人が一緒になって参加する体験活動やふれあい活動を推進することにより、青少年育成の充実を図ることができた。また、青少年サポート隊の活動により、登下校時の交通事故や子どもたちが犯罪に巻き込まれるような事件を未然に防いでいる。					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分						
評価委員	評価結果	指摘事項					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。					
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等						

事業名	文化財保護事業			所管課	社会教育課	担当	社会教育担当
				費目	文化財保護費		
事業費 (千円)	5,831	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
			2,463	948			2,420
基本方針	重点目標	開発と埋蔵文化財の調整及び保護、史跡維持管理、その他業務の推進					
	主要施策	開発把握の徹底、史跡の活用、文化財の啓発活動の推進					
事業の内容等	開発を事前に把握し埋蔵文化財の有無を確認する確認調査事業、県・町指定史跡の維持管理事業、文化財の啓発活動事業など。						
事業の実績等	<p>○ 平成24年度文化財保護法第93・94条第1項による開発届出処理件数：47件 うち確認調査実績件数：26件（26件中、10件で遺跡を確認し、7件が設計変更等により遺跡が保護された。一方3件が記録保存のための本調査（受託事業）へ移行した。） この事業により開発と埋蔵文化財保護との調整を行うことができた。</p> <p>○ 県指定史跡—4ヶ所、町史定史跡—2ヶ所の維持管理業務を実施し、年間をとおして景観美化に努めた。</p> <p>○ 歴史講座等の講座を行い、文化財への啓発活動を行った。 ・歴史講座—全8回で総計522名 前年度比較96名増 上記の参加者を集め、郷土の文化財への理解を深めていただき、地域活性化の一助となるよう努めた。 参加者数についても年々増加しているため、継続した啓発活動を行っていきたい。</p>						
事業の成果等	自己評価	○ 開発に伴う確認調査については、文化財保護法に従い今後も継続的に事業を進め、地域歴史の証しである埋蔵文化財と開発との調整を図っていく。					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	○ 史跡維持管理は、景観美化についてはほぼ達成している。昨今の情勢から、史跡の公開などを積極的に取り組む努力を継続している。 ○ 啓発活動の歴史講座については好評を得ているので、今後も継続実施しつつ、歴史遺産活用事業を展開するための周知活動と位置付けていく。					
評価委員	評価結果	指 摘 事 項					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。					
次年度以降の取組み	指 摘 事 項 を 受 け て の 改 善 点 等						

事業名	放課後子ども教室事業			所管課	社会教育課	担当	社会教育担当																								
				費目	社会教育総務費																										
事業費 (千円)	1,076	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源																								
			358	358			360																								
基本方針	重点目標	生涯学習の総合的な推進と青少年の健全育成																													
	主要施策	総合的な放課後子どもプランの実施および活動の推進																													
事業の内容等	<p>校区ごとに、スポーツ、手芸、英会話等の教室を実施し、多様な体験活動の機会を充実させ、子どもたちの心豊かな成長を育むことを図る。さらに、地域住民の参画を得ることにより、地域ぐるみで子どもを育む環境づくりを推進する。</p>																														
事業の実績等	<p>○ 4月～翌年2月にかけて、原則毎月第1、第3土曜日の午前中に、中原風っ子元気スクール、茂安っ子いきいきスクール、三根わくわくスクールを各校区において実施した。また、夏休み期間中も、各校区において夏休み子ども教室を実施し多くの子どもたちが参加した。</p> <p>○ 教室内容：スポーツ、手芸、英会話、木工、ハンドベル、遊んじゃ王（昔遊びや体験活動等）等</p>																														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>放課後子ども教室名</th> <th>開催回数</th> <th>延べ参 者数</th> <th>夏休み子ども 教室開催回</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中原風っ子元気スクール</td> <td>16回</td> <td>1,005名</td> <td>12回</td> <td>160名</td> </tr> <tr> <td>茂安っ子いきいきスクール</td> <td>17回</td> <td>712名</td> <td>10回</td> <td>107名</td> </tr> <tr> <td>三根わくわくスクール</td> <td>17回</td> <td>528名</td> <td>10回</td> <td>73名</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>50回</td> <td>2,245名</td> <td>32回</td> <td>340名</td> </tr> </tbody> </table>		放課後子ども教室名	開催回数	延べ参 者数	夏休み子ども 教室開催回	参加者数	中原風っ子元気スクール	16回	1,005名	12回	160名	茂安っ子いきいきスクール	17回	712名	10回	107名	三根わくわくスクール	17回	528名	10回	73名	計	50回	2,245名	32回	340名				
放課後子ども教室名	開催回数	延べ参 者数	夏休み子ども 教室開催回	参加者数																											
中原風っ子元気スクール	16回	1,005名	12回	160名																											
茂安っ子いきいきスクール	17回	712名	10回	107名																											
三根わくわくスクール	17回	528名	10回	73名																											
計	50回	2,245名	32回	340名																											
事業の成果等	自己評価	<p>放課後子ども教室を実施したことで、子どもたちの安全で健やかな居場所を提供でき、小学1年生から6年生までの異年齢間の交流も図ることができた。さらに、子どもたちは地域の大人が指導員として参加することで地域との交流も深められた。</p>																													
	<p>達成</p> <p>おおむね達成 やや不十分 不十分</p>																														
評 価 委 員	評価結果	指 摘 事 項																													
	<p>達成</p> <p>おおむね達成 やや不十分 不十分</p>	<p>新たな指導員を発掘するなどして、教室内容のマンネリ化をなくすようお願いしたい。</p>																													
次年度以降の取組み	指 摘 事 項 を 受 け て の 改 善 点 等																														
	<p>今後においても、子どもたちのニーズにあった教室を開催することで、子どもたちに安全で健やかな居場所を提供し、楽しく参加できるように努める。</p>																														

事業名	九州及び全国競技大会 出場補助事業		所管課	社会教育課	担当	社会体育担当
			費目	保健体育費		
事業費 (千円)	891	財源	国庫	県費	地方債	その他
基本方針	重点目標	たくましい心身の育成をめざす、町民総スポーツの振興				
	主要施策	競技スポーツの振興				
事業の内容等	本町内に在住する者が九州地区又は全国競技大会に出場する場合に予算の範囲内において補助金を交付し出場者の負担軽減を図り社会体育の振興に寄与する。					
事業の実績等	<p>○ 全国大会 バウンドテニス(東京都 1名) 小学少年少女空手(東京都 5名) 中学女子フットサル(福岡県 1名) 中学生空手(広島県 11名・北海道 3名) 中学選抜バレー(大阪府 1名) 小学生卓球(兵庫県 2名) 硬式テニス(東京都 1名) 中学選抜野球(東京都 2名) 中学剣道(東京都 2名) 小学剣道(東京都 6名) 中学陸上(神奈川県 1名) 小学サッカー(静岡県 1名)</p> <p>小計37名 652千円</p> <p>○ 九州大会 少年柔道(長崎県 2名) 小学体操(長崎県 1名) ラグビー(熊本県 1名) 水泳(熊本県 14名) Jr女子サッカー(鹿児島県 3名、長崎県 1大分県 6名) 中学選抜剣道(熊本県 9名)</p> <p>小計37名 239千円</p> <p>合計 のべ74名 891千円 (前年度98名 951千円)</p>					
事業の成果等	自己評価					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> おおむね達成 <input type="checkbox"/> やや不十分 <input type="checkbox"/> 不十分	昨年と比較して全国大会出場では、2名 37千円の増、九州大会出場では、26名 97千円の減となった。				
評価委員	評価結果	指摘事項				
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> おおむね達成 <input type="checkbox"/> やや不十分 <input type="checkbox"/> 不十分	特になし。				
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等					
	今後も、町広報誌への記載や体育協会・少年スポーツクラブ振興会等の会議の場を利用して、社会体育振興の為、助成漏れが無いようPRしていきます。					

事業名	町体育協会補助事業			所管課	社会教育課	担当	社会体育担当																												
				費目		保健体育費																													
事業費 (千円)	3,500	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源																												
							3,500																												
基本方針	重点目標	たくましい心身の育成をめざす 町民総スポーツの振興																																	
	主要施策	競技スポーツの振興																																	
事業の内容等	町体育協会に加盟する各種目団体(16 団体)が行う大会、講習会等PR及び各種目団体が事業を行った場合の事業費の一部補助、また、県民体育大会出場者の募集及び選手派遣費等の補助を行う。																																		
事業の実績等	<p>○ 専門部事業実施回数</p> <table border="0"> <tr> <td>・剣道部</td> <td>3回</td> <td>・柔道部</td> <td>3回</td> </tr> <tr> <td>・陸上部</td> <td>1回</td> <td>・ゲートボール部</td> <td>10回</td> </tr> <tr> <td>・野球部</td> <td>1回</td> <td>・グラウンドゴルフ部</td> <td>6回</td> </tr> <tr> <td>・卓球部</td> <td>1回</td> <td>・テニス部</td> <td>4回</td> </tr> <tr> <td>・バレーボール部</td> <td>5回</td> <td>・ゴルフ部</td> <td>4回</td> </tr> <tr> <td>・ソフトボール部</td> <td>4回</td> <td>・相撲部</td> <td>1回</td> </tr> <tr> <td>・バトミントン部</td> <td>3回</td> <td>・ボーリング部</td> <td>2回</td> </tr> </table> <p>計 48回</p> <p>○ 県民体育大会実績 総合順位 町の部 第2位 (昨年3位)</p> <p>主な結果 (団体) 男子ソフトボールA・ゲートボールA優勝・男子ソフトボールB・水泳2位 (個人) 走り高跳び優勝 水泳女子平泳ぎ・3段跳び3位</p>							・剣道部	3回	・柔道部	3回	・陸上部	1回	・ゲートボール部	10回	・野球部	1回	・グラウンドゴルフ部	6回	・卓球部	1回	・テニス部	4回	・バレーボール部	5回	・ゴルフ部	4回	・ソフトボール部	4回	・相撲部	1回	・バトミントン部	3回	・ボーリング部	2回
・剣道部	3回	・柔道部	3回																																
・陸上部	1回	・ゲートボール部	10回																																
・野球部	1回	・グラウンドゴルフ部	6回																																
・卓球部	1回	・テニス部	4回																																
・バレーボール部	5回	・ゴルフ部	4回																																
・ソフトボール部	4回	・相撲部	1回																																
・バトミントン部	3回	・ボーリング部	2回																																
事業の成果等	自己評価	<p>会員数については23名の増となり、専門部事業実施数についても3回増と積極的に展開されている。また、県民体育大会においては総合順位を2位へと躍進し、次回はぜひ町の部優勝と士気があがっている。</p>																																	
	<p>達成</p> <p>おおむね達成 やや不十分 不十分</p>																																		
評価委員	評価結果	指摘事項																																	
	<p>達成</p> <p>おおむね達成 やや不十分 不十分</p>	特になし																																	
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等																																		
	これからも、体育協会の会議、体協だより、町の広報紙等により、各専門部の各種大会や教室の開催案内や県民体育大会の選手募集の案内を行っていきます。																																		

事業名	町民体育大会実行委員会 補助事業		所管課	社会教育課	担当	社会体育担当
			費目	保健体育費		
事業費 (千円)	1,800	財源	国庫	県費	地方債	その他
						一般財源 1,800
基本方針	重点目標	たくましい心身の育成をめざす 町民総スポーツの振興				
	主要施策	多様なニーズに対応できる生涯スポーツの振興				
事業の内容等	スポーツ・レクレーションを通じて町民の融和と健康づくりを図り、生涯スポーツ、地域スポーツの振興と明るく豊かな町づくりのため町民体育大会を開催する実行委員会に補助金を交付することにより大会経費の軽減を図る。					
事業の実績等	<p>○ 中原校区町民体育大会 事業費600千円 参加人数 幼児105人、小中学生110人、一般980人 合計1,195人 得点種目(分館対抗)4種目、リレー種目7種目、レクレーション種目11種目で開催された。</p> <p>○ 北茂安校区町民体育大会 事業費600千円 参加人数 幼児180人、小中学生240人、一般1,290人 合計1,710人 得点種目(分館対抗)5種目、リレー種目2種目、レクレーション種目11種目で開催された。</p> <p>○ 三根校区町民体育大会 事業費600千円 参加人数 幼児50人、小中学生200人、一般1,822人 合計2,072人 得点種目(分館対抗)7種目、リレー種目4種目、レクレーション種目6種目で開催された。</p>					
事業の成果等	自己評価	<p>当日は晴天に恵まれ、孫からおじいちゃん、おばあちゃんまで一緒になって競技することができた。</p> <p>マンネリ化防止、効率化するため、全ての校区において、一部種目変更等を行い実施した。</p>				
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分					
評価委員	評価結果	指 摘 事 項				
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	参加者増とマンネリ化防止の為、適宜の種目の更新をした方が良い。				
次年度以降の取組み	指 摘 事 項 を 受 け て の 改 善 点 等					
	今後も、適宜に種目や競技の内容等を更新を行う。加えて、地域や学校等との連携を図り、若年層からお年寄りまで幅広く参加ができる大会開催を心がけます。					

事業名	各種スポーツ大会等開催事業			所管課	社会教育課	担当	社会体育担当
				費目	保健体育費		
事業費 (千円)	521	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源 521
基本方針	重点目標	たくましい心身の育成をめざす 町民総スポーツの振興					
	主要施策	多様なニーズに対応できる生涯スポーツの振興					
事業の内容等	スポーツを通じて町民の融和と健康づくりを図り、生涯スポーツ、地域間スポーツの振興と明るく豊かな町づくりを目指す。						
事業の実績等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 5/27 第16回佐賀県さわやかスポーツレクリエーション祭 ○ 7/1 第8回分館対抗女子ミニバレーボール校区大会 39チーム540名の参加(1位 中原校区・上地、北茂安校区・中津隈、三根校区・新町) 7/8 第8回分館対抗女子ミニバレーボールみやき町大会 12チーム155名の参加(1位 中津隈、2位 東尾、3位 東大島、山田・箕原) ○ 9/14 第7回分館・クラブ対抗ナイタースーパーキックベースボール大会 12チーム136名の参加(Aパート1位東尾、Bパート1位 北茂安小教員) ○ 10/28 第6回分館対抗男子スローピッチソフトボール大会 26チーム416名の参加予定であったが、当日降雨により中止 ○ 11/2 登山教室 糸島市~佐賀市 雷山 19名の参加 ○ 11/5~16 第7回クラブ対抗女子ミニバレーボールリーグ戦 17チーム216名の参加(A シスターズ、B 白石、C 西分プラス) ○ 12/4、12/11、12/18 ニュースポーツ教室 室内パチンコ、ダーツ、シャフルボード、スポンジテニス等 延80人参加 						
事業の成果等	自己評価	<p>開催内容の大会・教室において、参加者数に多少の変動はあるが、安定した参加が見られている。分館対抗男子スローピッチソフトボール大会が2年連続で降雨の為中止になったことが惜まれるため、次回より種目変更を行いたい。</p>					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分						
評価委員	評価結果	指 摘 事 項					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	種目変更を行った場合は、その広報のやり方を工夫した方が良い。					
年度以降の取組み	指 摘 事 項 を 受 け て の 改 善 点 等						
	今後においても、現在行っている種目は存続し、天候に左右されない種目の普及を図ってきたい。種目変更を行う場合は事前に体験会を実施したい。						